

折に触れ 四字熟語

NO. 55 『合従連衡』 がっしょう れんこう

< 意味 > その時の利害に従って、結びついたり離れたりすること。また、その時勢を察して、巧みにはかりごとをめぐらす政策、特に外交政策のこと。もとは中国戦国時代、蘇秦の合従策と張儀の連衡策のことをいう。

出典：『史記』「孟子伝」

語釈：「従」は縦の意。「合従」は西に位置する強国秦に対し、東に位置し南北に連なった趙・魏・韓・燕・斉・楚の六国が、縦の連合をして対抗する策で、蘇秦が提唱した。

「衡」は横の意。「連衡」はこの六か国が秦とおのおの横に同盟を結んで、国を維持しようとした策で、張儀の政策。「従」は「縦」とも書く。

一言：衆議院議員選挙の投票日10月22日が迫ってきました。選挙の結果によっては各政党の間で合従連衡が行われるかもしれません。

参考文献：三省堂「四字熟語辞典」 岩波書店「四字熟語辞典」